

第19回松本市新型コロナウイルス感染症対策本部会議の結果について

(令和3年2月26日午後5時30分～)

1 松本圏域及び市内の感染状況等

健康福祉部次長より、資料のとおり説明がありました。

(1) 新規陽性者数

散発的に陽性者は発生しているものの、松本市では2月16日以降新規感染者の発表がなく、感染状況は落ち着いている。

(2) 医療提供体制

入院が必要な感染患者の減少及び年末以降に入院した患者が概ね退院したことにより逼迫状況は改善している。2月25日時点での中信地区の病床逼迫度は0.8%であり、市立病院でもコロナ病床の入院患者はいない状況である。

2 3月1日以降の対応方針（案）

(1) 現状認識

松本圏域及び市内の感染状況等の説明と重複したため省略

(2) 市の方針

ア 県の対応について

危機管理部長より、資料のとおり説明がありました。

年度末・年度始めにあたる3月20日～4月9日を「感染対策強化期間」とし、帰省・旅行、会食・会合、会議・休暇などの分散化・小規模化・遠隔化について県から協力要請が出ており、市も支援する。

イ 市独自の今後の対応方針

危機管理部長より、資料のとおり説明がありました。

前回の対応方針に基づき、4月以降の新しい生活様式を踏まえた日常生活に向けて、令和3年3月末までを目処とした約1カ月間を通常に戻るための準備期間（日常回復期）として位置付け、対応することとする。

また、新型コロナウイルスワクチンが供給されしだい、速やかに市民を対象としたワクチン接種が開始できるよう準備を進める。

ウ 市民への呼びかけ

健康福祉部長より、資料のとおり説明がありました。

日常回復期の感染防止のお願いとして、特に会食で注意することについて、「まつもと版“新たな会食”のすゝめ」を作成し市民へ呼びかける。これは県の作成した信州版をかみ砕いたもので、食事前・食事中・食事後に実施することを整理し、特に、会食参加者同士で概ね1mの距離をとり、概ね2時間以内とすることを明確化した。

エ 日常回復期の市の対応について

危機管理部長より、資料のとおり説明がありました。

3 庁内対策チーム

(1) 松本市新型コロナウイルスワクチン接種プロジェクトチーム（仮称）
第18回対策本部会議にて説明済のため省略

(2) 保健所支援班（仮称）

中核市推進室長より、資料のとおり説明がありました。

中核市移行に伴い、保健所業務として、松本市において新型コロナウイルスの感染が拡大した場合には業務が急激に増大することが予想されることから、関係部局に職員の動員を要請し、全庁体制で対応をお願いしたい。

4 各部局からの報告

新型コロナウイルス感染防止のための職員の取組みについて
総務部長より、資料のとおり説明がありました。

(1) 勤務体制

これまでと同様に、出勤者を2割削減すること。

(2) 出張

ア 市内外に関わらず、感染に十分に留意し対応すること。

イ 感染拡大地域への出張は、できるだけ控えること。

(3) 会食に係る取組み

ア 県が実施する「新型コロナ対策推進宣言の店」などの飲食店を利用するとともに、「まつもと版“新たな会食”のすゝめ」を参考にすること。

イ 会食参加者同士で概ね1mの距離をとり、概ね2時間以内とすること。

ウ 一次会のみで開催とすること。

以 上